

男女共同参画に関するアンケートの実施について

1 趣旨

「第4次京都市男女共同参画計画（※）」（平成23年度～，平成28年3月改定）及び「真のワーク・ライフ・バランス推進計画」（平成24年度～，平成29年3月改定）の計画期間が平成32年度で終了することから，男女共同参画に関する市民の意識やニーズを把握するとともに，計画策定及び改定時に実施した以前のアンケート結果との経年比較を行い，平成32年度における次期計画策定作業の際の基礎資料として活用するため，男女共同参画，配偶者等からの暴力，真のワーク・ライフ・バランス等の分野における市民アンケートを実施する。

※ 「配偶者暴力防止法」に基づく「京都市DV対策基本計画」を組み込む。

<今後のスケジュール>

平成31年 7月	平成31年度第1回男女共同参画審議会 ・アンケート案の提示，意見聴取
9～10月	アンケート調査
平成32年 3月	平成31年度第2回男女共同参画審議会 ・アンケート結果の報告，次期計画概要について意見聴取
平成32年4月以降	審議会を4回程度開催（必要に応じて部会を開催） ・次期計画策定につき，市長から審議会へ諮問・審議会から市長への答申

2 アンケートの実施方針

(1) 種類

次の2種類のアンケートを，実施する。

ア 男女共同参画に関するアンケート

真のワーク・ライフ・バランスの分野については，「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画の改定版を策定するに当たり，平成27年度に単独でのアンケートを実施しているが，男女共同参画と真のワーク・ライフ・バランスの分野が密接に関連することから，男女共同参画に関するアンケートに一本化する。

イ 配偶者等からの暴力に関する意識調査

(2) 対象

市内に居住する満18歳以上の男女3,000人

今後予定される成人年齢の変更等を踏まえるとともに，若年層の意識のより一層の把握を行うことを目的に，対象を前回の20歳以上から18歳以上に変更

(3) 調査項目の作成方針（別紙：過去のアンケート調査項目）

ア 前回までの調査からの継続性を考慮する。

イ 調査項目に、新たに次の視点を盛り込む。

- ① 働き方改革
- ② 女性活躍推進
- ③ マタニティ・ハラスメント
- ④ 男性の意識改革

①～④ ⇒ 働き方改革関連法の改正や今後予定される女性活躍推進法等の改正のほか、法改正を取り巻く社会情勢等を反映

⑤ 防災

⑤ ⇒ 近年増加する災害等に対する、女性の視点からの課題対応への社会的ニーズを反映

(4) アンケート結果のその他の活用

アンケート結果の一部をウィングス京都において隔年で発行している「京都市男女共同参画データブック」に掲載し、ウィングス京都で実施する講座で用いる資料等として活用する。

3 平成31年度予算

5, 100千円

<参考：前回のアンケートの概要>

●男女共同参画に関するアンケート（設問数28）

対象：市内に居住する満20歳以上の男女3,000人

（住民基本台帳（外国人登録データ含む。）から無作為抽出）

調査方法及び期間：平成26年5月30日～6月14日に郵送法で実施

回収数：1,091票（回収率：36.4%）

報告書：平成27年2月作成

●配偶者等からの暴力に関する意識調査（設問数22）

対象：市内に居住する満20歳以上の男女3,000人

（住民基本台帳（外国人登録データ含む。）から無作為抽出）

調査方法及び期間：平成26年5月30日～6月14日に郵送法で実施

回収数：1,003票（回収率：33.4%）

報告書：平成27年2月作成

●「真のワーク・ライフ・バランス」に関するアンケート（設問数12）

対象：市内に居住する満20歳以上の男女3,000人

（住民基本台帳（外国人登録データ含む。）から無作為抽出）

調査方法及び期間：平成27年6月10日～6月30日に郵送法で実施

回収数：1,111票（回収率：37.0%）

報告書：平成28年1月作成

1 京都市男女共同参画に関するアンケート

分野	設問項目	17年度	21年度	26年度
男女共同参画に関わる社会の動きについて	男女共同参画の推進の是非	○	○	○
	男女が平等になっていると思う項目	○	○	○
	「男は仕事, 女は家事・育児」という考え方の是非	○	○	○
	子供に身に着けさせたい能力	○	○	○
	「女性の人権が尊重されていない」と思う項目	○	○	○
	議員や審議会委員等に占める女性の割合を高めるための方策	○	○	○
	男女共同参画に関する法律や言葉等の認知	○	○	○
	法改正が雇用分野に与えた影響	○		
家庭生活や地域活動について	「男女共同参画社会」に期待すること	○	○	○
	家庭でのことがらの担当・決定者	○	○	○
	上記ことがらのうち, 家族の協力や手助けが必要なもの	○	○	○
	参加した・参加したい地域活動(自治会・PTA)の種類	○	○	○
	参加した自治会等の運営における男女間の差の有無	○	○	○
	自治会等以外で参加した・参加したい地域活動	○	○	○
	男性が女性と共に, 家事, 子育て, 介護, 地域活動に参加するために必要なこと		○	○
	妊娠や出産, 避妊, 更年期等の女性の健康と権利について, 男女が理解し合うために必要なこと		○	○
職場環境について	健康診断の定期的な受診の有無		○	○
	職業・就労状況	○	○	○
	週当たりの勤務日数及び平均勤務時間	○	○	○
	年収	○		
	賃金や昇進制度での男女間の不当な差の有無		○	○
	現在の仕事への不満や悩み	○		
	セクシュアル・ハラスメントの被害経験又は見聞きしたことの有無とその内容		○	○
	セクシュアル・ハラスメントを受けた際の対応		○	○
	(無職・学生の方に対して)就労の希望の有無	○	○	○
	(就労希望のある方に対して)希望する働き方	○	○	○
京都市の取組について	(就労希望のある方に対して)就労するうえでの困りごと	○	○	○
	(就労希望のない方に対して)就労を希望しない理由		○	○
	ウイングス京都の利用の有無	○	○	○
京都市の取組について	ウイングス京都が実施する事業のうち充実を希望するもの	○	○	○
	「男女共同参画社会」の実現に向けて市が取り組むべき事項	○	○	○
設問数(自由記載欄除く)		25	28	28

2 「真のワーク・ライフ・バランス」に関するアンケート

分野	設問項目	26年度
「真のワーク・ライフ・バランス」について	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知	○
	「真のワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知	○
	仕事と仕事以外(家庭生活や地域活動等)とのバランス	○
	生活の中で時間が不足している活動内容	○
	仕事・家庭生活・自分のための活動・地域活動等それぞれにおいて, 時間を充実するための課題	○
	「個人や家庭」「企業等」「行政」それぞれにおいて, 「真のワーク・ライフ・バランス」が実現した社会をつくるために必要となる事項(3問)	○
	仕事と私生活が共に充実するよう意識しているかどうか	○
	地域や社会への「つながり」を大切にするために参加している地域活動や社会貢献活動	○
	「真のワーク・ライフ・バランス」実現のための地域活動や社会貢献活動への参加の希望の有無	○
	「真のワーク・ライフ・バランス」に関するポータルサイトの認知	○
設問数(自由記載欄除く)		12

3 配偶者等からの暴力に関する市民意識調査

分野	設問項目	19年度	26年度
DVの 認知度	(ける, 大声で怒鳴るなど)夫婦間等で行われた場合, 暴力だと思うか	○	○
	夫婦等男女間の暴力についてどのように思うか	○	○
被害経験 相談状況	DVの被害経験の有無	○	○
	DVの続いた期間	○	○
	DVを受けた年齢	○	○
	加害者との関係(配偶者, 同棲相手等)	○	○
	DVを受けたときどうしたか	○	○
	DVを受けたとき, 加害者と別れなかった理由	○	○
	DV被害経験を誰かに相談したか	○	○
	相談した場合, 相談先	○	○
	相談をしなかった場合, その理由	○	○
	子どもは, DVを受けていることを知っているか	○	○
加害経験	(あなたが)DVを受けたあと, 子どもに変化はあったか	○	○
	子どもに対しても暴力や虐待があったか	○	○
DVを 見聞き した経験	加害経験の有無		○
	周囲でDVを受けている(受けた経験のある)人を知っているか	○	○
	周囲でDVを受けている(受けた経験のある)人との間柄	○	○
DV対策 被害者 支援	暴力を受けている(かもしれない)ことに気づいて, どうしたか。	○	○
	DV防止のために必要な施策	○	○
	必要な被害者支援施策	○	○
DV防止法	本市のDVに係る施策で知っているもの	○	○
	配偶者暴力防止法について知っているか	○	○
設問数(自由記載欄除く)		21	22